

2024年5月22日(水)第四水曜祈祷会

出エジプト記32章1～14節

『主の思いを捉えた祈り』

【『御霊とみことばによって』 31章】

- ①主は、ベツアルエルとオホリアブを( )し、モーセに命じたすべてのものを作らせた。
- ②安息日の厳守が繰り返し命じられる。それは、主とイスラエルの( )のしるしである。
- ③主は、シナイ山でモーセと語り終えた後、二枚の( )を与えられた(24:12の成就)。

【観察と黙想】

1. 子牛の偶像(32章1～6節) \*イスラエルの最初の背信的行為の記録

- ①民はどのようにして、アロンに「先立って行く神々」を造ってほしいと頼んだのですか。  
→
- ②アロンは民の訴えに対して、どう答えるべきだったと思いますか。  
→
- ③「鑄物の子牛」を造って、民はどのような礼拝をささげたと思いますか。  
→

2. 神の怒り(32章7～10節) \*「主の言われたことを行います」と誓ったばかりだった

- ①主が「わたしの民」ではなく、「あなたの民は」と言われたことは、何を意味していますか。  
→
- ②「うなじを固くする民」とは、どういう意味ですか。  
→
- ③「わたしはあなたを大いなる国民とする」とは、どういうことですか。  
→

3. モーセのとりなし(32章11～14節) \*神に選ばれた人モーセは必死にとりなしの祈りを捧げる

- ①主が「あなたの民」と言われたのに対して、モーセはまず何を強調しましたか。  
→
- ②「どうしてエジプト人に・・・と言わせてよいのでしょうか。」とは、どういうことですか。  
→
- ③「アブラハム、イサク、イスラエルを思い起こしてください」とは、どういうことですか。

【適用と分かち合い】

- ①主が契約を結び、律法を与えて聖いものにしようとしておられる民は、どのような民ですか。
- ②主の激しい怒りと祝福の約束を聞いた時、モーセはどのように思いましたか。
- ③モーセのとりなしの祈りから、今日の私たちは何を教えられますか。